

500人委員会但馬OB会だより

たじま



No. 65 2024・12

今年も

但馬ぐるりんて活躍しています!!



副会長 武中律子作

## 香佳ふるさとまつり「こども広場」に参加して

香住 第10期 西川 晴美

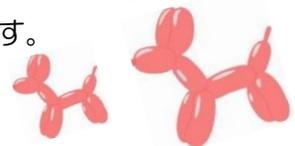
令和6年7月22日(土)梅雨も明け、灼熱の太陽が照り付ける会場(北緯35度64分東経134度62分)に日高・豊岡・城崎や竹野からも応援に駆けつけて下さいました。



500人委員会の皆さんのずっと続いてきた絆を感じる瞬間です。いつもいつもありがとうございます。

たくさんある色鮮やかな風船の中から“青がいい”、“白がいい”と好みがハッキリしている子供達、お気に入りのバルーンを手にして嬉しそうな笑顔、うだるような暑さの中でも親子思い思いに楽しんでいる様子に私たちも笑みがこぼれます。

テントの中では次から次と子供達の注文に応えようと黙々とバルーン作りにポンプを動かし続けています。事前研修でこの日のために練習した“プロペラ機”お披露目するはずが…??? 記憶はいつどこに…!! 次回はリベンジ頑張ります。



## 介護施設「ポポロの杜」訪問

豊岡 第11期 隈元 哲子



令和6年8月24日(土)豊岡市にある介護施設「ポポロの杜」に何年かぶりに6名で訪問しました。ご家族の方も来られ豊岡市のマスコットキャラクター「玄武洞の玄さん」も登場したり、賑やかに開催されておられる中に、私たち500人委員会但馬OB会もバルーンアートで参加させていただきました。

まずは古澤さんが犬を作ると、わーっと驚きが! 剣・トンボと色々と作っていくと皆さん興味深く見られてました。

その後、皆さんからリクエストを聞くと、犬・花・ウサギ等と次々と出て大変喜んでいただきました。

今回は、ウサギのリクエストが多かったなと思います。

短い時間でしたが楽しく交流が出来ました。



# 竹野浜クリーン作戦



日高 第17期 井垣 康彦

令和6年9月21日(土)9時前に観光協会に到着。まず北前館側の駐車場へ今年は9名が集まり、竹野浜のクリーン作戦に参加しました。

浜辺は人が少なく一見ゴミはほとんど見当たりませんでした。各自が袋を持ってゴミ拾いを開始。約40分後には袋は多くのゴミでいっぱいになり、浜辺も心もすっきりときれいになりました。

活動終了後は、地元の濱上さんがお手伝いされている竹野駅前



の「ぱんぷきん」で冷たい飲み物をいただきながら反省会を行いました。

帰りには、お店に並んでいた新鮮な野菜や果物を購入し解散となりました。

来年はさらに多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## SOS キャッチ専門研修



つながり合って**幸せ**に生きる ~不登校・ひきこもりの支援を通して~

関宮 3期 中村 勇

最初に不登校・ひきこもりに対して参加者は、どんな印象を持っておられるのか意見交換をしました。「10代学生の不登校・ひきこもりは、学校でのいじめの原因によるものが強いと思いますが、大人のひきこもりは、社会や職場になじめない人」という意見でした。「いじめはいつの時代も無くならないと思うので、家庭が一番いごごちの良い場所なので暫くは見守ってあげたほうが良いと思います」「問題解決には気長に待つ姿勢が必要で、処方薬はないが人ほど良い薬はない(人薬)という事でゆっくりと人に慣れながら笑顔を増やし、頼れる人を多く作って生きていくこと」、「ほっとけない」という気持ちを持って取り組んでいますとの弁。



戸田和代講師



講師の戸田氏は、ドーナツの会(居場所の提供・相談活動・講演活動)や、こども食堂(但馬地域第1号で地域住民誰もが利用できる食堂)など多方面に渡り若者を社会につなぐ橋渡しをしておられます。

増え続ける社会的孤立に、「つながる~つなぐ~ひろげる」を合言葉に支援を提供しており、ひとりでも多くの方に心をつなぎ「閉ざしたところを開き、成長力を引き出す支援」にご支援ご理解をいただきたいと強く訴え、私たちの心の奥まで響く講演でした。

# 但馬まるごと感動市



令和6年11月9日(土)~10日(日)今年の感動市は快晴に恵まれ、例年に負けない盛況ぶりでした。

朝9時頃は余裕がありましたが、10時を過ぎると来場者が増え始め、バルーンはあっという間に在庫がなくなってしまいました。そのため、子どもたちの希望を聞きながら即席で作る場面も多々ありました。風車もたくさん作りましたが、それでも追いつかないほど。特に意外だったのは、高齢の方が風車に興味を持たれ、「頂いてもいいですか？」と小さなお子さんに回して見せていた光景です。



## TAJIMA MARUGOTO KANDO-ITI



「但馬まるごと感動市」は、但馬の恵まれた自然環境に育まれた多様な農林水産物と地場産品の展示・販売、地域づくりに向けた取組を情報発信するとともに、ひょうごフィールドパビリオンを見て、学んで体験してもらうなど、「食・物産・観光」をテーマとした集客・交流イベントで、年齢を問わず楽しんでいただけたのが印象的でした。

参加者は2日間で延べ25名でした。9日の午後は9名、10日の午前は7名で、てんてこ舞いの状態。それでも、花や剣のバルーンを持って喜ぶ子どもたちの笑顔に励まされながら「無理せずできる範囲でやり



ましよう」と声を掛け合いながら進めた2日間。結果、バルーンは合計1,400本、風車は500個を作成。無事にイベントを終えることができました。

みなさま、本当にお疲れさまでした！



## 令和6年度 但馬中学生からのメッセージ ～私の主張2024～



# 但馬中学生からのメッセージ

日高 14期 岡本 浩

令和6年8月7日(水)但馬文教府に於いて「第34回但馬中学生からのメッセージ～私の主張2024～」が開催され、私たちも参加してきました。

この事業は、但馬の中学生が日頃の生活や団体活動を通して感じていることや考えていることを多くの人に訴えるとともに、自ら社会の一員としての役割と責任を自覚し、さらに21世紀のひょうごを切り拓く担い手として成長することを目的として開催されています。

今年度は、応募者数249名の中から6名の中学生が発表され「祖母の戦争体験を語り継ぐ」香美町立村岡中学校3年 西崎 佐智さんへ、但馬青少年本部長賞（最優秀賞）を授与されました。

私たちも戦争を知らない世代ですが、西崎さんがまた語り部となって行くことされるその思いが大変印象的でした。

更に西崎さんは9月28日開催の、兵庫県大会でも発表されました。



少年の主張兵庫県大会  
QRコード(西崎さんは⑧番)



### 今後の予定

## 親睦会&自主研修

令和7年2月22日(土)

第1部 12:00～親睦会(お弁当代1,000円)

第2部 13:00～14:30

第1幕 古澤顧問による紙芝居

第2幕 加藤一座様の紙芝居と踊り



### お願い

会員の皆さんが地域の中で活躍されている小さなことでもお寄せください。

OB会だよりの原稿にご協力を!!



発行/こころ豊かな人づくり500人委員会但馬OB会

〒668-0025 豊岡市幸町7-11 但馬青少年本部(但馬県民局 県民躍動室 県民課)

☎(0796)26-3648 FAX(0796)23-1476